



雨が降る中でステージを楽しみ観客



アカペラの同好会PVSHによる教室発表



書道同好会によるパフォーマンス



メインステージでのヘアショー企画



正門から見える巨大布絵

淑楓祭の最後を飾る後夜祭では、お笑い芸人のゴー☆ジャスさんを迎え、お笑いライブや後夜祭の目玉であるバルードロップとなりました。

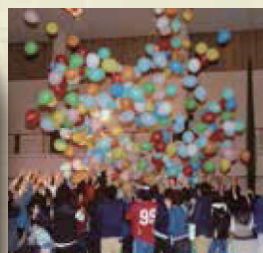
淑楓祭の最後を飾る後夜祭では、お笑い芸人のゴー☆ジャスさんを迎え、お笑いライブや後夜祭の目玉であるバルードロップとなりました。

長久手キャンパス

今年度は初めての企画を多く取り入れ、淑徳No.1コンテストや目玉企画として脱出ゲーム、献血の実施の他、愛知学院大学「愛学祭」このコラボ企画も実現しました。テーマの「N8(スー)」をモチーフとした巨大布絵や壁装飾、モニメントなどが長久手キャンパス中を彩り、楽しい雰囲気を作り出しました。

大学祭開催のための準備として、実行委員による地域の清掃活動や、近隣の皆様・企業様への挨拶に伺いました。当日は多くの方々にご来校いただき、地域の皆様に愛される淑楓祭に成長していることを実感しています。この結果、天候には恵まれないながらも2日間、18325人も来場者数を記録し、大成功で終えることができました。

第39回淑楓祭を創るにあたってご尽力いただきました関係者の皆様、地域の皆様、団体様、お客様に対して実行委員一同心から感謝申し上げます。



後夜祭のバルードロップ

悪天候でも変わらぬ盛り上がり

REPORT

レポート

14

大学

第39回淑楓祭

11/1(土)・2(日)

長久手キャンパス・星が丘キャンパス 合同テーマ「Z∞(スー)」

※両キャンパスの大学祭実行委員長による淑楓祭のレポートです

星が丘キャンパス

笑顔が溢れる2日間

今年度の淑楓祭は、テーマの「N8(スー)」をモチーフに、動物やそれにあった装飾物を多く設置しました。例年通り見て楽しめるだけでなく、触れて楽しい装飾物たちで来場者の皆様をお迎えました。その結果悪天候ではありませんでしたが、実行委員一同だけでなく、来場者の皆様のたくさんの笑顔が溢れる2日間となりました。



第39回大学祭実行委員会星が丘キャンパスの全メンバー

1日目はオーブンスペース内野外特設ステージにて、無料お笑いライブを行い非常に多くのお客様に満足していただくことができました。

メイン企画であるお化け屋敷、サブ企画の脱出ゲーム、小さなお子様たちに楽しんでもらえるように用意した子ども広場、どの企画も両日ともに大盛況で特に親子で参加してくださった方が



ひときわ目立つ巨大布絵

目立ちました。幅広い年齢層のお客様に楽しんでもいただき、淑楓祭ならではの雰囲気を感じていただけただけです。

後夜祭では、ビンゴ、ダンス、レーザーショーと長い時間にわたりステージ上で行われた企画を楽しんでいただけたいと思います。

住宅街である星ヶ丘で、淑楓祭が毎年開催できているのは、近隣にお住いの皆様のご理解、ご協力があるおかげです。清掃活動や星ヶ丘小学校との合同企画、トワイライトスクールとの合同企画といった活動を行ってきました。来年度以降もこうした活動を通して、地域の皆様に愛される、地域に根差した淑楓祭であり続けられるよう、より一層努力していきます。

第39回淑楓祭開催にあたり、ご協力いただいた関係者の皆様、地域の皆様、団体の皆様、来場者の皆様に対して、実行委員一同厚く感謝申し上げます。



親子で楽しめる子ども広場



お化け屋敷の順番を待つ子どもたち



盛り上がりをみせるステージ



来場者を魅了する装飾物



「おいしくできたよ!」



荒波も何の!シーカヤック



「私の願い叶えて!」



津波古さんにお礼



「絶景!」中城城



平和の礎

ありのままの沖繩を知り、沖繩の心を感じ、青春の大切な思い出をたくさん刻んだ3泊4日となりました。

恒例のひめゆり学徒隊の平和祈念講話ですが、証言員の高齢化により今年からひめゆり資料館以外での開催ができませんになりました。幸い学年を二つに分けて島袋淑子さんと津波古ヒサさんをお迎えしてお話を聞くことができましたが、戦後六十九年目を迎えて「次世代に戦争と平和を語り継ぐ」ことも大きな曲がり角にきているようです。

中学3年生が一番楽しみにしていた沖繩研修旅行が11月5日から8日までの3泊4日の日程で行われました。今年のテーマは、「沖繩をみる、きく、かんじる!」です。本土とはちがう空や海を見て、沖繩が経験した地獄のような戦争の話を聞き、ひとつでも多くのことを感じとってほしいのです。

中学校 沖繩:研修旅行 11/5(水)~8(土)



真剣!証言集を読む

写真撮る プレた枚数 多すぎ
後に見返す What is this?

ガマの中 暗さは人の 醜さと 戦の苦しみ 叫び続ける

沖繩戦 六九年 経った今 心に響く 「生きてね」の声

ちゃんぶるー歌壇

エイサーの かわいい君に 一目ぼれ

砂の文字 あの日のことも さらう波

澄み渡る 空に浮き立つ オスブレイ

ちゃんぶるー俳壇

CAMPUS

キャンパス

20

学びの研修旅行

10月27日から31日まで4泊5日、280人、バス7台を連ねて吉野ヶ里遺跡、柳川下り、阿蘇、草千里、雲仙災害記念館、原城址、平和講話、原爆資料館、慰霊祭、長崎一日別研修、九州国立博物館、太宰府天満宮と北九州を中心に研修旅行に行ってきた。九州は大陸との重要な接点であり、地域性や文化を学ぶに相応しい地です。大自然は雄大さと怖さの両面を教えてください。研修旅行は事前にも調べ学習した地へ実際にいき、学んだことを深めてゆくと、この学びの場と考えています。残念ながら今回阿蘇火口は噴火警戒レベルが2に引き上げられていたため、プウエイが運休しており、見学はできませんでしたが、これも地球が生きている証と学びのひとつになりました。平和講話では「生きる勇氣」「戦争で新たな犠牲者を出さないでほしい」「平和とは相手の気持ちを考えてほしい」など長崎被爆体験者の方の心の叫びを真摯に受け止め、平和な世界を築く為に自分たちはどんな努力が必要なのかを考えてきました。長崎一日別研修では事前に

見学地を絞って地図や電停を調べ一日の行動を自分たちで決めておき、それに従って一日を過ごしました。自主的に取り組んだ成果として中味の濃い見学をすることができました。更に長崎の人たちの温かさにも触れました。自分のことだけでなく全体を考へて行動することの重要性も学びました。研修旅行で生徒たちは多くのことを五感で感じ、吸収し、学び、たくましく成長してくれたと確信しています。



阿蘇・草千里



浦上天主堂

高等学校 九州修学旅行 10/27(月)~31(金)



雲仙地獄めぐり



長崎1日別研修



平和講話 下平さんへお礼



吉野ヶ里公園 物見櫓から